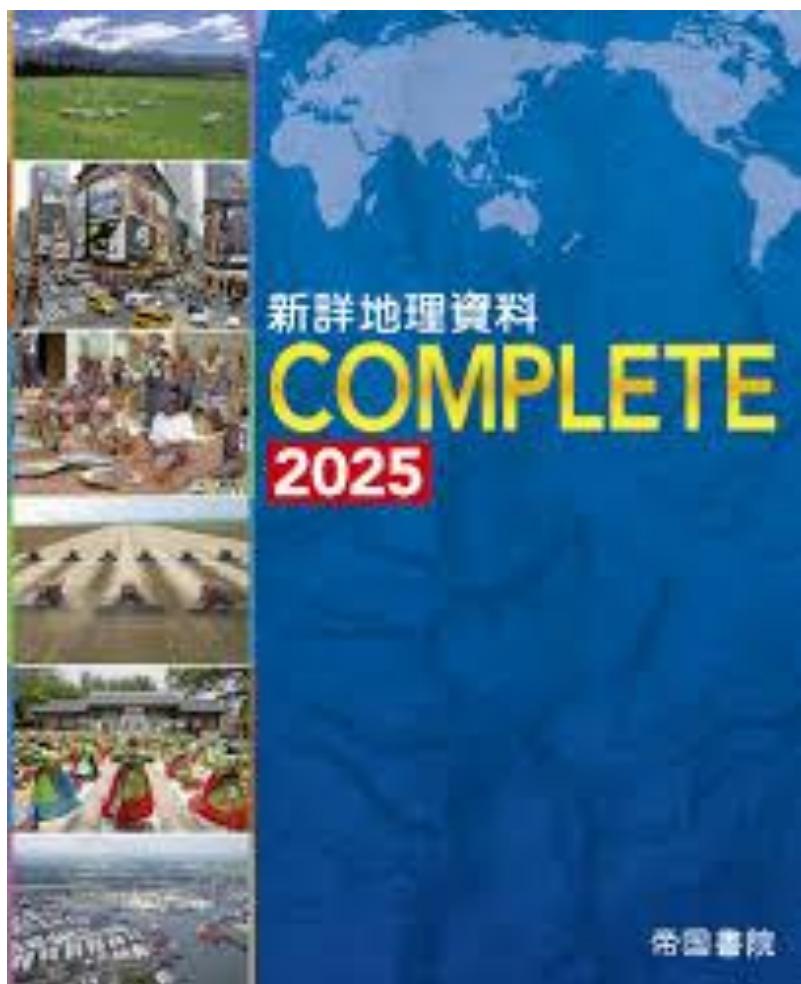

地理資料集要点まとめ

～愛と勇気の地理総合～



資料集の要点を確認
していこう！



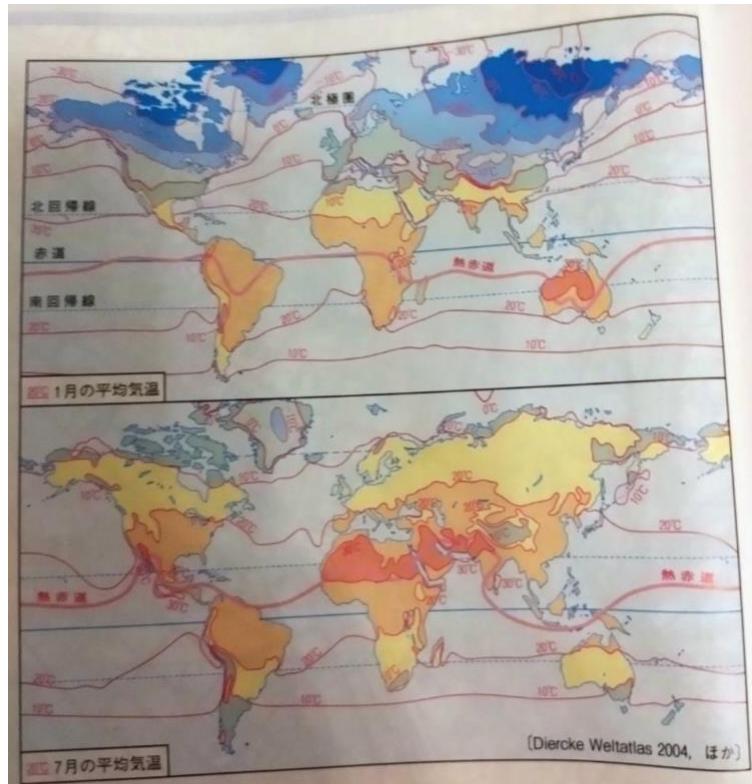
ケツペンギン

※画質が終わってるので自分の資料集を見ながら確認した方が良い
と思います。

※即席で作ったので情報量はそこまで多くありません。細かい情報
は自分で調べてください。あくまで参考程度に。

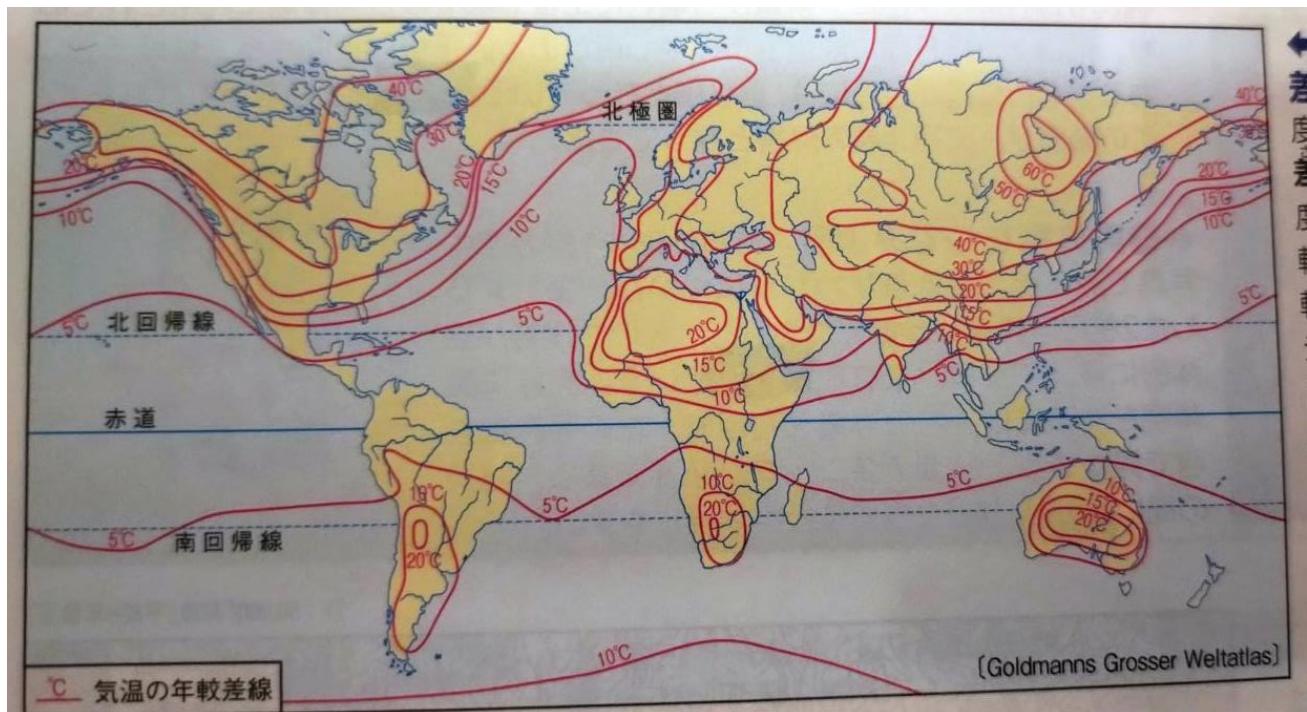
※なお作成者は教科書とプリントを学校に忘れてきたので、もしか
したらとんでもない嘘をついている可能性があります。訂正があれ
ば地理担当川口まで。

P40 上



- ・熱赤道の位置を確認しておく。夏は北半球、冬は南半球に寄る。
- ・海より陸の方が温まりやすいので、普通の赤道に比べて曲がった形をしている。
- ・大陸の西岸に位置しているヨーロッパでは、北大西洋海流によつて海水が暖かく、その暖かさを偏西風が内陸まで運んでくるため、冬場でも比較的暖かくなっています。
- ・大陸の西岸は暖かく、東岸は寒い

P40 真ん中

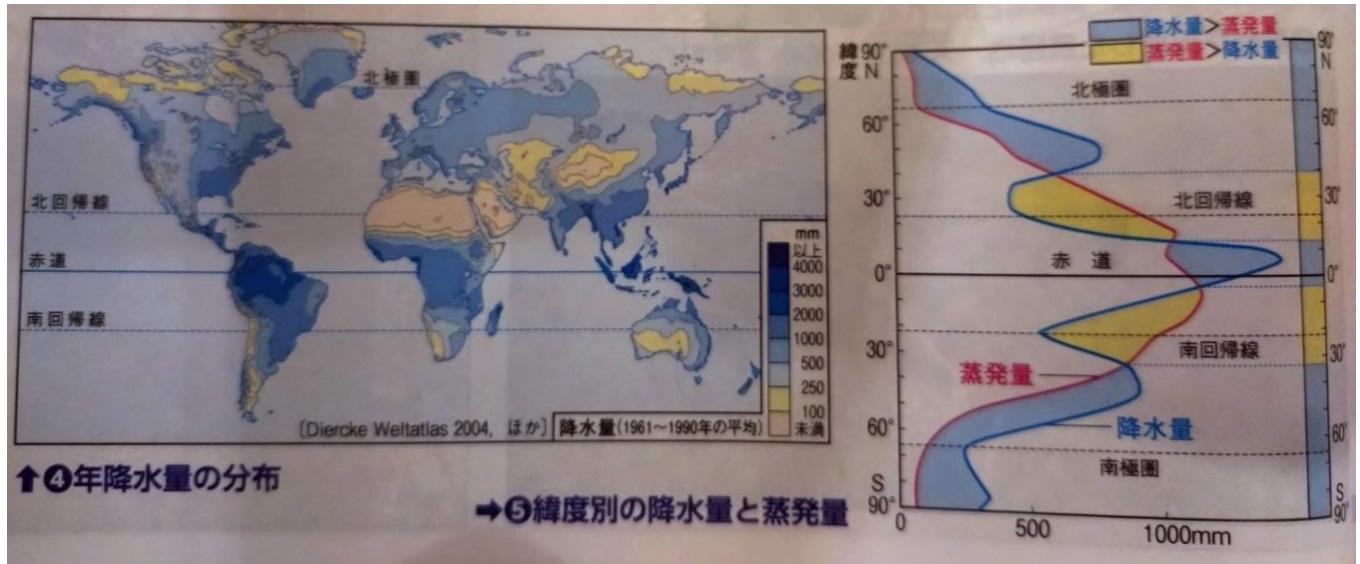


- 基本的に、低緯度の地域は年較差が小さく、逆に高緯度の内陸部では年較差が大きくなる。
- 回帰線より低緯度の地域は日較差が年較差より大きい。

年較差が大きい気候のことを大陸性気候、年較差が小さい気候のことを海洋性気候と呼ぶね！



P40 下



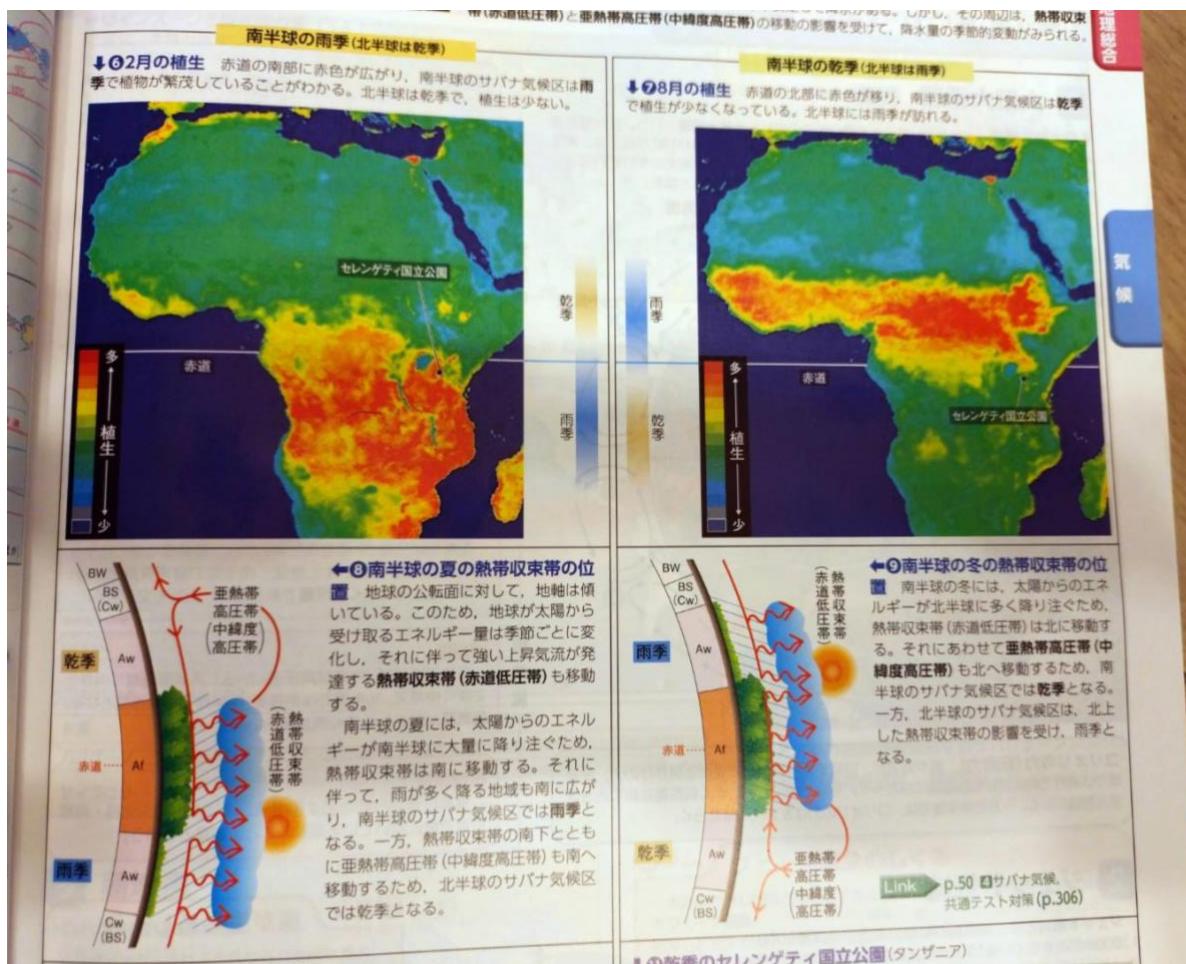
- ・降水量が多いところは湿潤、蒸発量が多いところは乾燥する。
- ・湿潤な地域は亜寒帯低圧帯と熱帯収束帯
- ・乾燥する地域は亜熱帯高圧帯

蒸発量と降水量のグラフは去年の後

期中間にも出てたから覚えておこ

う！





・2月ごろには熱帯収束帯が南半球寄り、7月ごろには北半球寄り

になる。それに伴って雨季と乾季が入れ替わる。

大気大循環と風

1 大気大循環 Link 共通テスト対策(p.306)

↓①大気大循環 地球を取り巻く大規模な大気の流れを**大気大循環**という。日射量の違いから、温められた赤道付近と冷たい両極地方との間に大気の循環(対流)が起こる。実際には地球の自転の影響を受けるため、図のように赤道を境として、南北にそれぞれ三つに分かれで大気が循環している。この循環の地表部分の動きが**恒常風**となる。

地図上に示す主要な風向と圧力帯:

- 高緯度東風
- 偏西風
- ジェット気流
- 高緯度北風
- 熱帯収束帯(赤道低圧帯)
- 中緯度高圧帯(亜熱帯高圧帯)
- 低緯度高圧帯(熱帯高圧帯)
- 中緯度低圧帯(亜寒帯低圧帯)
- 高緯度東風

地理力 東アジアから東南アジアは夏に降水量が多く、この気候条件がなぜ夏に降水量が多くなるのだろうか。気圧と風の関係に着目して考えてみよう。→題

極高圧帯 極地で冷やされた空気によって、下降気流が発生し、気圧が高くなる。亜寒帯低圧帯に向かって**極偏東風**が吹き出す。

亜寒帯低圧帯 緯度60度付近で**極偏東風**と**偏西風**が衝突し、上昇気流が発生して温帯低気圧となる。

気圧帯

亞熱帯高圧帯(中緯度高圧帯) 热帯収束帯(赤道低圧帯)で上昇した気流が、地球の自転の影響で回帰線付近で下降気流となり、気圧が高くなる。晴天で乾燥するが、風は弱い。高緯度側に**偏西風**、低緯度側に**貿易風**が吹き出す。砂漠気候を形成する要因の一つである。

熱帯収束帯(赤道低圧帯) 赤道付近で太陽エネルギーを大量に受けることにより空気が温められて、上昇気流が発生し、低圧帯となる。降水は、スコールでもたらされる。Link p.48 スコール

恒常風

貿易風 亜熱帯高圧帯(中緯度高圧帯)から、低緯度地域に向かって吹く風。北半球では北東風、南半球では南東風となる。年中一定方向に吹く**恒常風**であるため、天気も安定する。

偏西風 亜熱帯高圧帯(中緯度高圧帯)から、高緯度地域に向かって吹く恒常風。北半球では南西風、南半球では北西風となる。低気圧が発生しやすく雨が多い。

極偏東風 極高圧帯から吹き出す恒常風。高緯度地域や北極・南極付近で常に吹いている東風のこと。極風ともいう。

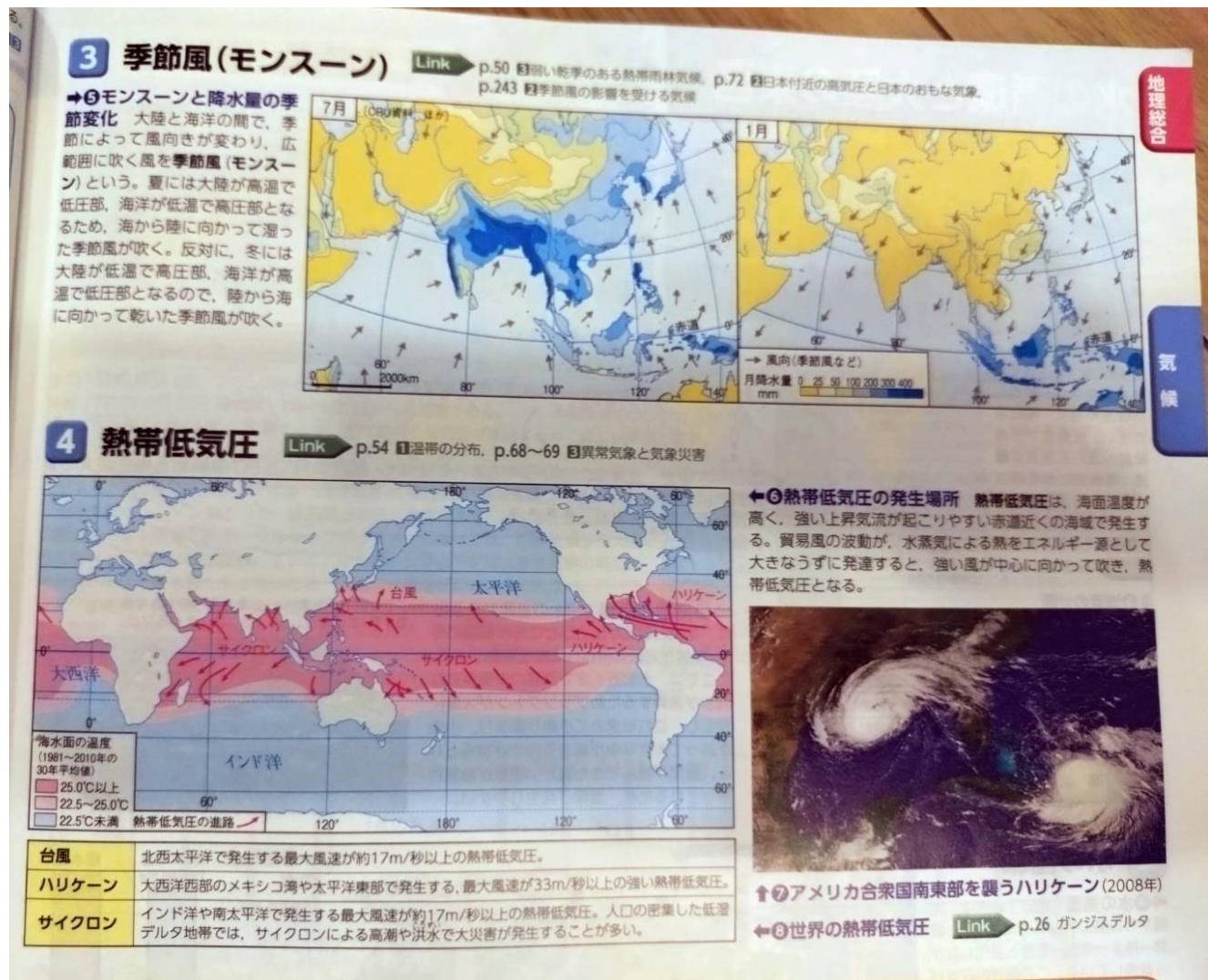
2 ジェット気流

- ・覚えて！熱帯収束帯が低圧帯、極高圧帯が高圧帯であることを覚えれば気流の流れを想像しながら他の部分も覚えられるはず。
- ・偏西風、貿易風の違い、ジェット気流とはなにか、チェック。

頑張って覚えよう！



P43 上



- ・季節風の向きを確認。夏は海から陸へ、冬は陸から海へ吹く。
- ・台風、ハリケーン、サイクロン、違い確認。

5 局地風

⑨地中海周辺の局地風

比較的狭い地域にみられる風を「局地風（地方風）」といふ。気温や湿度が大きく変化することにより、農作物などに被害をもたらすこともある。地中海の周辺では、複雑な海岸線やアルプス山脈、サハラ砂漠の影響で地域特有の風が吹く。



⑩世界の局地風

シロッコ	地中海を低気圧が通り抜けるとき、サハラ砂漠から南ヨーロッパに吹きつける、砂塵を伴う熱風。
ミストラル	フランスのローヌ川の谷沿いで、地中海に向かって吹く寒風。
ボラ	アドリア海に吹き降ろす、乾燥した寒風。
フェーン	アルプス山脈の北側に吹き降ろす、南からの高温で乾燥した強風。
ブリザード	冬に、北アメリカなどを襲う、雪を伴う寒風。
やませ	6~8月に東北地方の太平洋岸などに吹く冷涼・多湿な北東風。

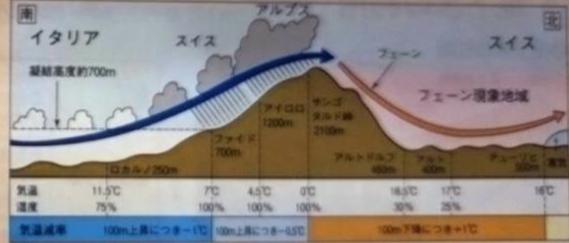
Link p.72 やませ

+ のガイド 薙の陸地は海洋に比べて気温が上がり、上昇気流が発生しやすい。その結果、陸地は低圧部、海洋は高圧部となり、湿気を含んだ季節風が海洋から陸地に吹き込んで降水をもたらす。

p.72 ガンジスデルタ

コラム フェーン現象のしくみ

水蒸気を含む空気が山を越えたときに、山の風下側の気温が上昇する現象を「フェーン現象」という。フェーン現象は、湿った空気が山を上昇するときと、乾燥した空気が山を下降するときの気温減率の違いによって生じる。「フェーン」とは、アルプス山脈の北側に吹き降ろす、高温で乾燥した局地風をさす言葉であったが、「フェーン現象」という言葉が英語で使われるようになり、用語として定着した。日本では、台風や低気圧などが日本海側を通過すると、太平洋側から湿った空気が山を越えて日本海側に吹き降り、このときにフェーン現象が発生する。フェーン現象が起こると乾燥した強風が吹くため、火災が起きやすく、その場合には、2016年12月に起きた糸魚川市の大規模火災のように火が燃え広がりやすいので注意が必要である。



⑪フェーン現象のしくみ

4

- 局地風の名前覚える。

覚え方：「白い皿買った」、「路地のミストか」、「ボラのドリア

に感謝感激」（授業スライド参照推奨）

- フェーン現象原理確認。

白い皿買った！白い

皿買った！白い皿買う

た！・・・



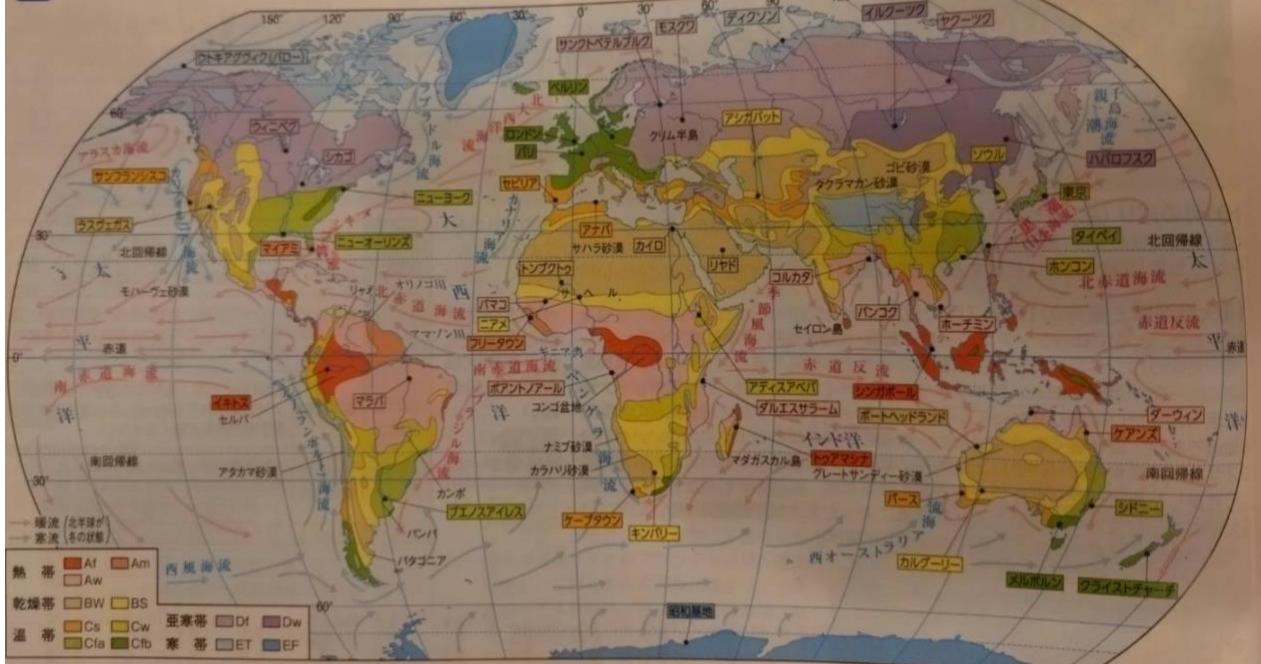
P44 上



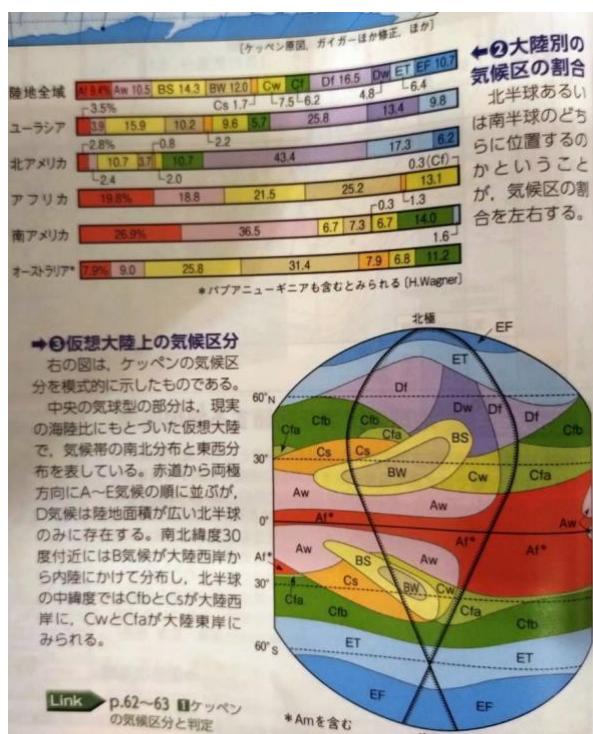
- ・暖流は低緯度から高緯度に、寒流は高緯度から低緯度に流れる。
- ・授業で触れられた主要な海流の名前と位置を覚えておこう。
- ・右ページに書いてある、西岸気候と東岸気候の違い確認。

海流がぐるぐる回って
るね。





P46 上↑各気候がどのような位置にあるのかを確認しておこう



P46 下

←記号問題で出そう。各

大陸の特徴を確認。

←大体上下対象。南半球には

D 気候がないので注意。

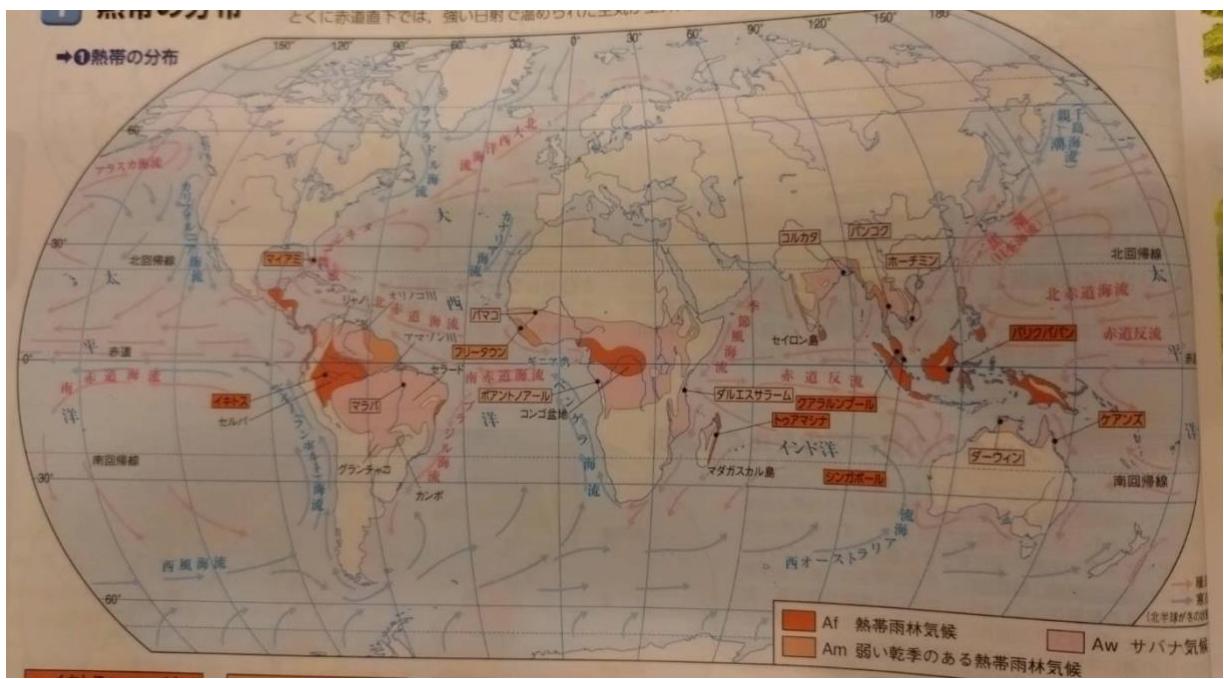


P47 下

←ハイサーグラフの様式を確

認。各気候のハイサーグラフ

の特徴も確認しておこう。



- ・最寒月平均気温が 18°C 以上。
- ・授業プリントで出てきた各気候の主な都市の場所確認。

Af (熱帯雨林気候) 気温の年較差が小さく年中高温である。ま

た、一年を通して雨が多い。熱帯雨林が発達。

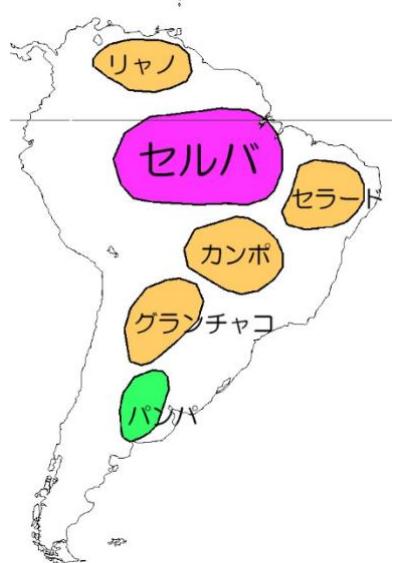
Am (熱帯モンスーン気候／弱い乾季のある熱帯雨林気候) 気候

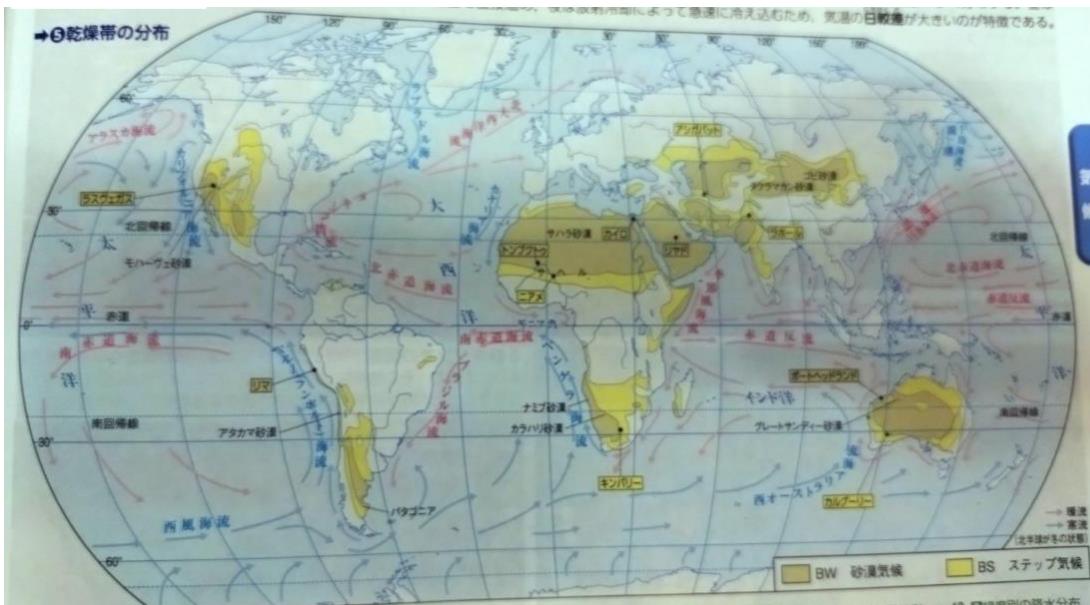
は Af に似ているが、弱い乾季がある。

Aw (サバナ気候) 雨季（夏）と乾季（冬）がある。アフリカの

野生动物がたくさんいるようなところが、まさにこの気候区分に属する。

- ・右ページは適当に見といて～
- ・p 50 「用語」のサバナの部分は右の図と一緒に見といて。





- BW 気候は年降水量が乾燥限界の 1 / 2 未満, BS 気候は年降水量が乾燥限界の 1 / 2 以上の降水。

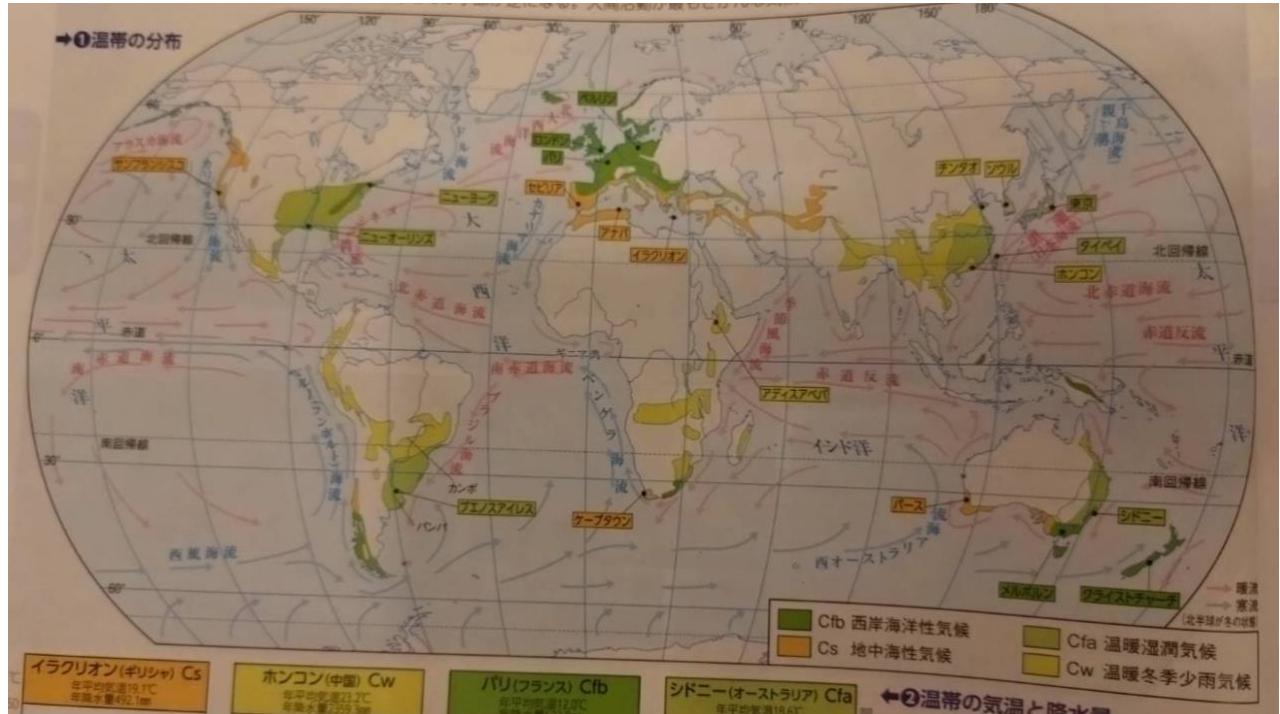
BW (砂漠気候) 数ある中で最も乾燥している（降水量が少ない）気候区がこれである。

BS (ステップ気候) 砂漠気候に次いで乾燥している気候区。ステップ（短い草の草原）はこの気候区の地域で見られる。肥沃な土壌が広がっていることが多く、農業に適している。

- p 52 「コラム」の砂漠の成因を確認。

砂漠の成因

回帰線砂漠・・・サハラ、グレートサンディ
 海岸砂漠・・・ナミブ、アタカマ
 内陸砂漠・・・ゴビ、タ克拉マカン
 雨陰砂漠・・・パタゴニア



- 最寒月平均気温が -3°C 以上、 18°C 未満。

Cs (地中海性気候) 温暖で、夏季に乾燥する。名前の通り地中海沿岸で見られる。

Cw (温暖冬季少雨気候) 温暖であるが、冬季はかなり乾燥する。

Cfa (温暖湿潤気候) 気温の年較差が大きく四季が見られる。

Cfb (西岸海洋性気候) Cfa よりもやや涼しく、住みやすい気候である。

P55 「コラム」 エリカ気候とオリーブ気候チェック。

こんくらいの気候がち
ょうどいいよね

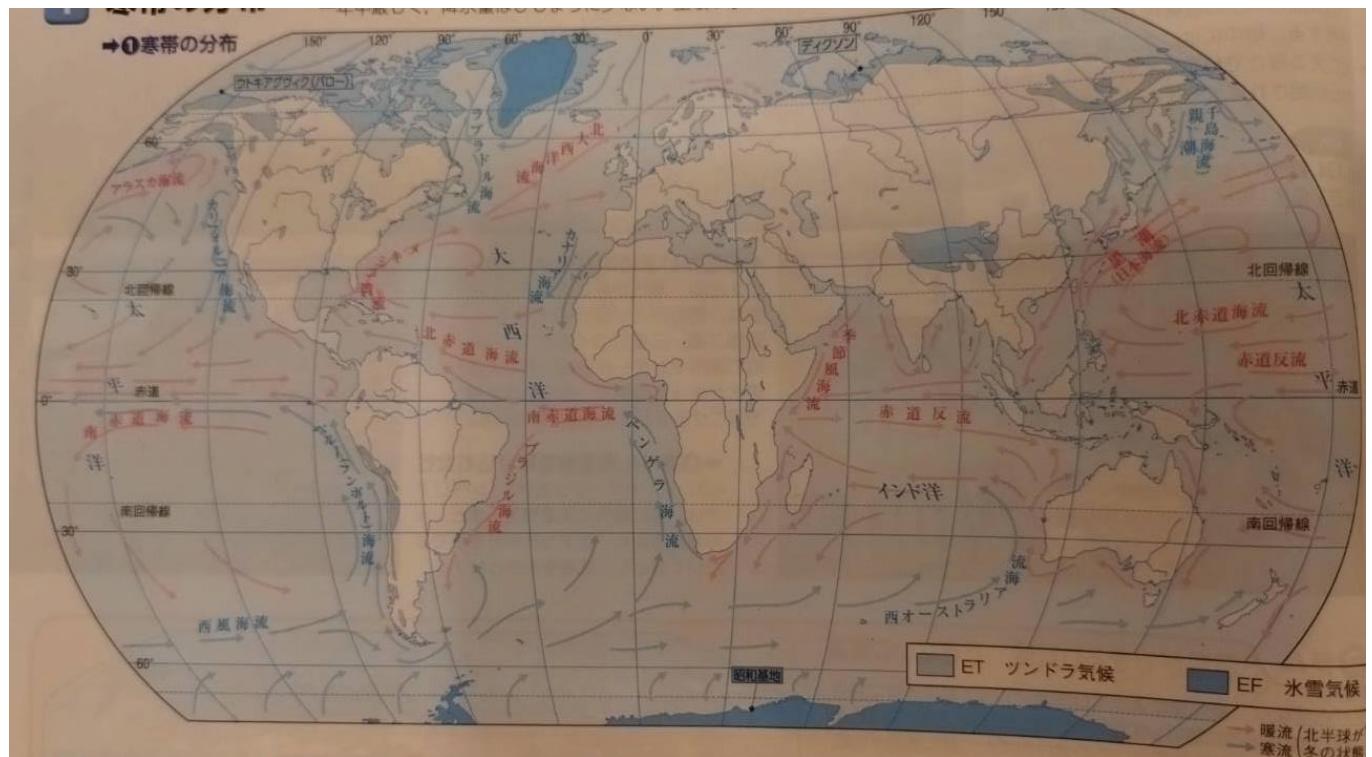




- ・最寒月平均気温が -3°C 未満、最暖月平均気温が 10°C 以上。
- ・北半球のみに見られる

Df (冷帯湿潤気候) 日本国内では北海道が、海外ではカナダやロシアの広い範囲などがこの気候区分にあたる。タイガと呼ばれる針葉樹林が発達している。また、酪農や麦類の生産が盛んであるところが多い。

Dw (冷帯冬季少雨気候) 冬の寒さが非常に厳しい。一方、夏は 10°C 以上の温度になり、温度の年較差が大きい。ロシア東部に分布する。



- ・最暖月平均気温が10°C未満で、低温のため樹木が育たない。

ET (ツンドラ気候) 最暖月の平均気温が0°C~10°Cで、年中寒冷

である。永久凍土が広がるが、気温が0°Cを上回る夏には土壤の表面部分のみが融け、植物が育つ。

EF (氷雪気候) 最暖月の平均気温が0°C未満で、きわめて寒冷で

ある。地面は一年中冰雪で覆われ、融けることはない。人間が定住するのは困難である。(アネクメーネ)動植物もわずかにしか見られ

ない。

僕のすみか！



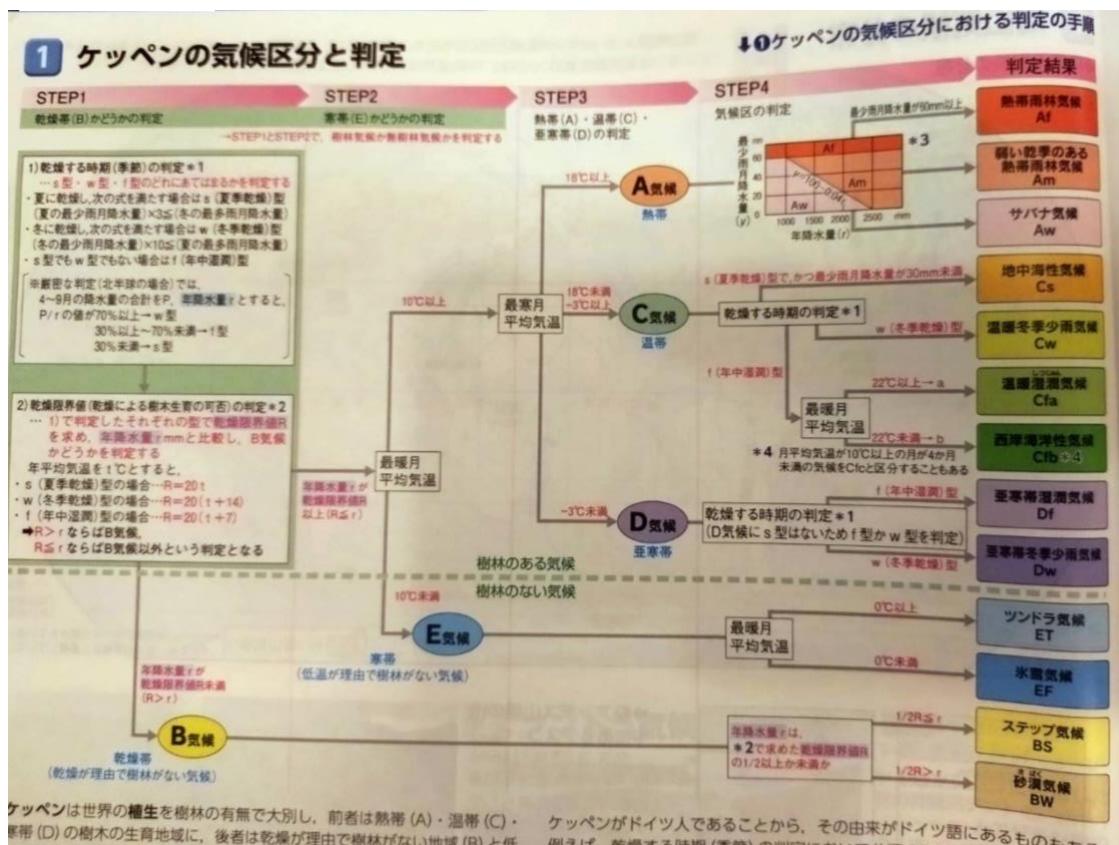


H（高山気候）ケッペンの気候区分には含まれないが、よく使われる気候帯にH（高山気候）がある。これはトレワーサ（アメリカ、1896～1984）らによって考え出されたもので、一年を通して冷涼で気温の年較差が小さい、標高の高い地域で見られる気候を指し示している。



←要チェック！多分出る。

トウモロコシ、じゃがいも、小麦など標高による作物の変化を確認。

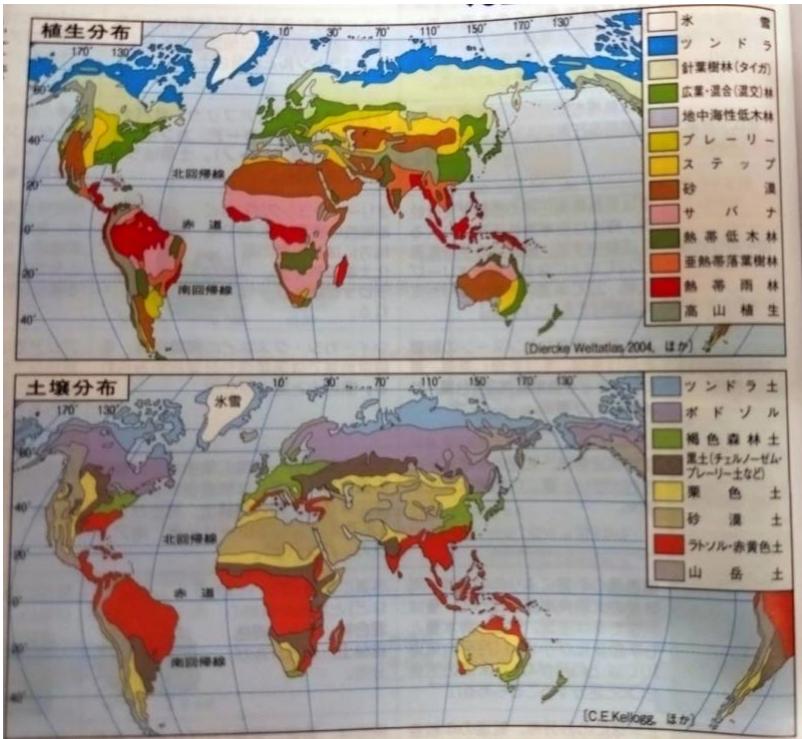


- これが今回のテスト一番大事！絶対判別式を扱えるようになろう。
- 覚え方は特に無いのでとにかく暗記するしかない。でもこれさえ覚えれば今回のテストは敵なし。
- 右ページのまとめで今までやってきた部分を復習しよう。

ややこしいけど投げ

出さずに覚えよう！





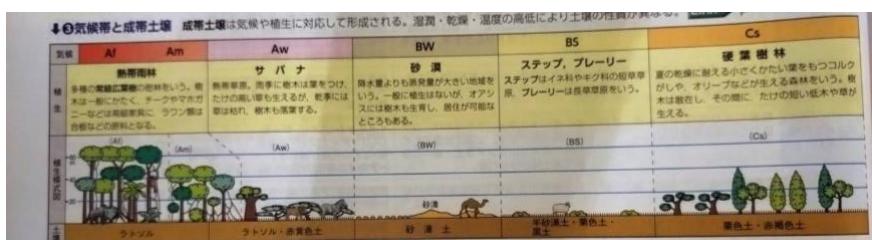
P64 上↑ケッペンの気候区分とリンクさせよう。



P64 真ん中

←穴埋めとかで出そう。

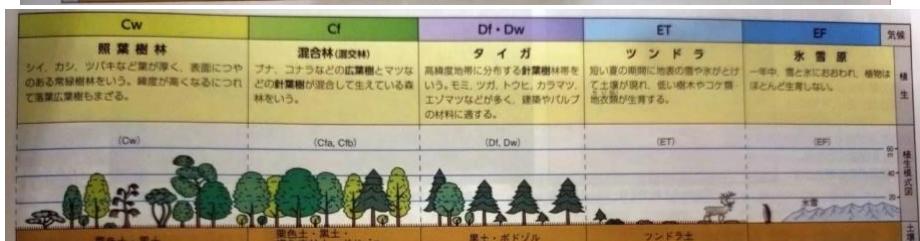
覚えよう。



P64、65

←気候帯と成帯土壤によ

る植生の違いをチェック



お疲れ様！